

88 歳のおばあちゃんが寄付した金額が 10 億円ってウソだった話

世の中には奇特な方折られるのですね
と TV の NEWS を聴いていました。

その人は、実にいい言葉を残していました。

貧乏の時に節約すると、心までプアになっちゃう。だから余裕がある時こそ節約しました。

自宅は築 20 年以上、なつかしの黒電話を使い、洗濯機は二槽式(今頃珍しい)、TV は 30 年前のもの。家電の使わないものは全部コンセントから抜く。買い物に行って安売りしたものを買った時は、その分は貯金する。そして、10 億円貯めると決めたこと。

あれれ? 「おばあちゃん、10 億円ってウソなんじゃないの?」いえいえ、おばあちゃんが寄付したのは今回で 2 回目の 10 億円だったというのです。

でも、10 億円貯めて寄付するって決めたときは、他の人にしゃべったら馬鹿にされそうですと黙っていたそうです。

おばあちゃんの旦那さまが他界するときに、俺が死んだらお手伝いさんでも雇えと言われたけど自分が怠け者になったら困るので今でもその習慣が残っているそうです。

そうそう、他には、ラップ(サランラップ)も買わないそうです。食べ物は全部うまく使い切るようです。

88 歳のおばあちゃんからのおさらい

プラズマ & 液晶の大型 TV は買わない
コンセントは全部抜く
ラップは使わない
10 億円貯めると決める

全部できそうにないですが

ひとつだけできそうなものがありました。

それは

この話を伝えることぐらいかな